

～ 樹 木 の 成 長 ～

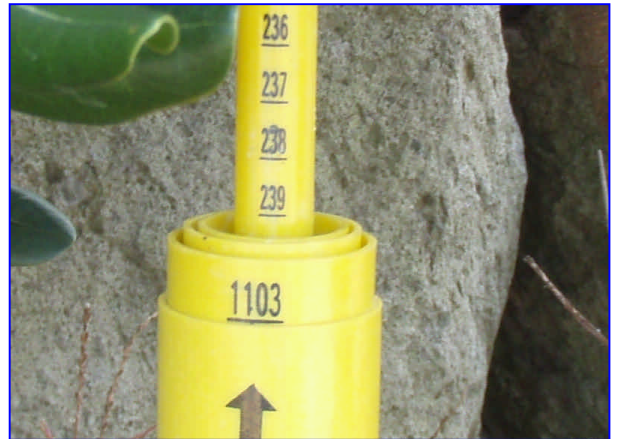
福井市 夏梅晃一

歳をとってあまりいいことはありませんが、唯一いいことかな？と思うことは、生き物の成長を見続けることができたことです。以前、フトヤギ（無脊椎動物・八放サンゴ類）の成長を紹介しましたが、今回は話を陸上植物に変えて、海岸に育つトベラとクロマツの成長です。

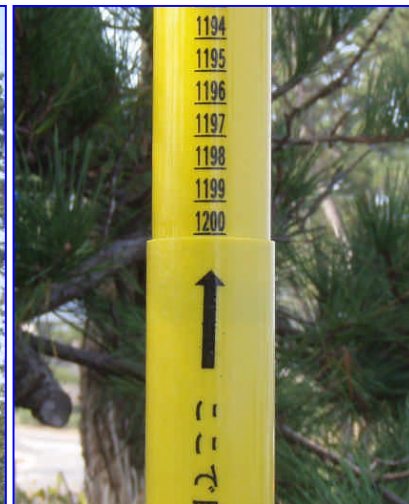
仕事での経験ですが、剪定されずに自然に育つ樹木の成長を見守れることがなかなかなくて、唯二、植栽時の大きさがわかっている、剪定されることなく今も成長を続けている2例です。

1例目は、東尋坊の最先端部に平成元年3月に植栽したトベラです。植栽時の樹高が約0.8m、今回計測したところ約2.4mでしたので、20年間に樹高が約1.6mの成長です（3倍に成長）。冬の北西風の風当たりが強いこの場所で、よく成長したものだと感じました。

2例目は、平成2年に開催された自然公園大会の営火会場として整備した広場の県道沿いに平成2年3月に植栽したクロマツです。植栽時の樹高が3～4m、幹周りが0.3m程度でした。今回の計測結果は、樹高が約12m、幹周りが1.05mでしたので、19年間に樹高が約8m、幹周りが約0.75mの成長です（こちらも約3倍）。フトヤギの成長に比べると大成長ですね！



H21.10.31 撮影
トベラの成長（東尋坊）
樹高約2.4m



H21.10.31 撮影
クロマツの成長
（三国・海浜自然公園）

樹高約12m
幹周り1.05m（地上1.3m）

会員の皆さんには、実生の樹木と
いうか、野生の樹
木の成長を観察さ
れている方や色々
な種類の庭木の成
長を見守っている
方がいらっしゃる
と思います。生き
物たちの成長の度
合いを是非教えて
ください。裏面の
連絡先にご連絡い
ただけると幸いです。